

第100回全国専門委員長会 議事録 訂正版

平成24年2月25日(土) 13時30分～17時00分
平成24年2月26日(日) 9時00分～12時00分
会場 学校法人成城学校 成城高等学校 会議室

次 第

- 1 専門部長挨拶 高松 彰
- 2 議長選出 全国高体連自転車競技専門部規約第28条第3項により専門部部長が議長を務める。
- 3 議事録署名人指名 同規約第29条により、(事務局)
愛知県委員長、名城大学附属高等学校 伊藤 治郎氏 及び
山梨県委員長、山梨県立富士北稜高等学校 川上 等氏を推薦する。
- 4 定足数確認 都道府県専門委員長総数47名中、出席数41名、委任状6名。
同規約第28条第1項により、本会議は成立。(事務局)
- 5 インターハイ謝辞 秋田県高体連自転車競技専門部委員長 堀部洋一氏
- 6 審議事項
 - (1) 平成23年度事業報告について (事務局)
事務局の報告通り承認
 - (2) 平成23年度収支中間決算について (事務局)
事務局の報告通り承認
 - (3) 平成24年度事業計画(案)について (事務局)
事務局の報告通り承認
 - (4) 平成24年度収支予算(案)について (事務局)
事務局の報告通り承認
 - (5) 平成24年度全国高校総合体育大会について
 - (ア) 実施要項等について (新潟県実行委員会・総務部会)
別紙参照
 - ・振り込み用紙をHPよりダウンロード後、印刷して作成する方法に変更
 - ・個人ロードレースの開催地枠の復活 3人
現地実行委員会の要望による変更および総務部会からの変更を承認
 - (イ) ロードコースの一部変更について (新潟県実行委員会)
別紙参照
 - ・7月の大雨の影響でコースの一部変更有り
 - ・スタート位置は国体と同じ
 - ・周回の方向は国体と同じ
 - ・**駐車場にトラックレースピットを設置する予定**
 - ・閉会式は文化会館
 - ・予算の関係でプログラムの無償配布を制限する
 - ・宿舎(温泉地)和室タイプしか準備できない
現地実行委員会の要望による変更を承認
 - (ウ) 学校対抗種目得点の変更について (総務部会)
別紙参照
 - ・団体種目の得点を大きくした
総務部会からの変更を承認
 - (エ) 女子エキシビジョンレースについて (理事長)

別紙参照

- ・過去3年間実施してきた。
- ・女子スキージャンプ競技を公開競技として全国理事会で提案された。公開競技はプログラムに記述し実施できる。
- ・自転車競技はエキシビジョンレースであり非公開競技。プログラムに掲載できない。
- ・公開競技にしていきたいので全国高体連に申請書を提出した。今年度は難しい。
- ・次年度に向けて進めていきたい。JKAからの補助がある。
- ・正式な競技になると・・・
男子と同じような申し込み方法で進めていく。

原案通り承認

(6) 登録選手対象の保険加入について (理事長・総務部会)

別紙参照

- ・秋田インターハイにてアンケートを実施
参加校の8割保険加入有り
2割保険加入無し・・・これは問題ではないか
- ・総務部会および理事会で加盟校登録と同時に保険加入(特約保険)をする方向で進めてきた。しかし、ダイイチプランニングの保証内容を確認したところ、自転車競技専門部としては期待したものではなかった。
示談交渉サービスはなし。
事故があったときの過失の割合をみたときに導入は難しい。
練習中(学校管理下クラブ活動)は保証されない。
- ・専門委員長は長野弁護士の意見を熟読する。
そして、各チームに伝える。保険に加入する用に促す。
- ・個人賠償(オプション)の有無の確認。
- ・立命館大学では新入生全員に加入させている。加盟校も同様の処置が必要ではないか。
- ・練習中はブレーキ、ライト、反射板を装着。
継続審議とする

(7) 加盟校登録申請書の内容変更について (総務部会)

資料無し

- ・責任監督を補佐する者記入欄
外部指導者の会社名および所在地を入力できるように変更する。
- ・加盟校登録の申請締め切りを前倒し。 **5月15日に変更**
原案通り承認

(8) ユニホーム登録の電子データ化について (総務部会)

資料無し

- ・選抜大会よりできるところから進めていきたい。
原案通り承認

(9) インターハイ女子競技の公開競技としての導入について (理事長)

- ・継続して全国高体連本部に申請していく。
原案通り承認

(10) 全国高体連自転車競技専門部の一般法人化に向けての取組みについて (理事長)

資料無し

- ・公益財団法人は難しい
- ・一般法人社団法人は取りやすい

- ・直接JKAとのやりとりができる。
 - ・全国高体連本部に質問したところ、返答はまだかえってこない。
- 原案通り承認

(11) 練習時の安全対策について (総務部会)

資料無し

- ・保険加入100%を目指したい。
- ・各校への指導お願いしたい。

原案通り承認

(12) その他

技術審判より24日に部会を開き資料作成
別紙参照

提案1 アンケートの実施

機材の制限が必要である(インターハイアンケート7割)

- ① 選抜大会で選手にアンケート
- ② 選抜大会で監督にアンケート
- ③ 登録時にアンケート
監督は電子データ
選手はアンケート用紙に記入後委員長が集計
- ④ 写真撮影(検車時に自転車を撮影。選手には反映無し)具体的なデータを
進めていきたい。

原案通り承認

提案2 大会要項の見直し案

- ・500人でいいのだろうか?
- ・部会では縮小していきたい。
- ・検討委員会を設ける。
- ・以前は3800名の登録選手現在1500名程度。
- ・部活を続けていくには平均金額95,000円自己負担が必要。
- ・検討委員会の創設

原案通り承認

提案3 大会開催ガイドブック作成

- ・実行委員会の労力軽減にならないか
- ・過年度委員長にはいってもらえれば良いのでは?
- ・検討委員会の創設

原案通り承認

提案4 研修機会の実現

- ・アンケートの解答の中に「研修の機会を設けてほしい」が多かった。
- ・JCFにお願いする。
- ・開催は各地域で?(旅費の関係)
- ・HPに動画配信「メディア部門の創設」

原案通り承認

7 報告事項

(1) 平成23年度全国高等学校選抜自転車競技大会について

(ア) 大会参加案内について

(総務部会)

口頭で報告があった。

- ・選手受付時チップを渡すようにしていたが、放電する可能性があるのでロード前

- 日に渡す。
・受付時にユニホームを確認する。

ロードレースについて (地元担当者)

- 口頭で報告があった。
- ・宿泊は旅館が多く、和室、相部屋はやむを得ない状況である。ご理解いただきたい。
 - ・旅館に対するクレームはやめていただきたい。
 - ・ピスト（加害者は一般人）で人身事故が起こり地元はぴりぴりしている。
 - ・試走での走りが荒いとこの地元からのクレームがでてきている。気をつけていただきたい。

(イ) 大会特別規則他について (技術審判部会)

- 口頭で報告があった。
- ・HPにアップ済み。ダウンロード印刷して監督会議に持参。
 - ・役員が決定した。
 - ・トラックからロード会場まで移動時間約2時間かかる。円滑な競技進行に努めたい。

ギヤ比について

- ・トラック 男子ジュニア 7. 1 3 m
女子ジュニア 7. 0 2 m
- ・ロード 男子・女子ジュニア 7. 9 3 m

理事長より

- 別紙の通り報告があった
- ・ギヤ比については3 / 1 5 評議委員会で決定
 - ・4 / 1 より施行
 - ・指導者の方に注意していただいてトレーニング負荷をあげてよし。
(選手の発育は個人差があるので注意)

(2) 日本自転車競技連盟諸会議の報告について

(ア) アンチ・ドーピングについて (理事長)

- 口頭で報告があった。
- ・2月アンチ・ドーピング委員会があった
 - ・インターハイ、選抜ではやらない。
 - ・発覚すると2年間公式大会出場禁止。若い選手が選手生命を絶たれる。
 - ・カテゴリー別の大会では行われる。
 - ・検査がないから何やってもかまわないだろうはだめ。
 - ・選抜大会でJADAが啓蒙を実施。
 - ・HPでJADAのパナー報告を追加。

(イ) ジュニア強化育成部会について (理事長)

- 別紙通り報告があった
- ・男子ジュニア メダル金5 銀5 銅3 合計13個 過去最高
 - ・女子は派遣無し。女子の競技力向上が課題。
 - ・2012年ナショナルジュニア選手 年間計画について
 - ・松本コーチ、中野コーチのもと強化を行っている。
 - ・指定選手の一般公募を行い、新しい選手の発掘をしていく。

(3) 全国高体連登録選手の競技者規程について (理事長)

- 別紙通り報告があった
- ・昨年の実業団12月加盟登録打合会でユースおよびジュニアの大会を行うことに

なった。

- ・高体連登録している選手が別の実業団のユニホームを着て実業団大会に出場することは全国高体連本部の競技者規程に違反し、罰則規定もある。しかし、本専門部には競技者規程がないので現在、競技者規程を作成中。

- (4) 日韓対抗学生自転車競技大会について (理事長)
口頭で報告があった。
・23年度事業報告にあったとおり実施された。
・落車事故があったが保険をかけていなかった(韓国大会は学連担当)。
・今年度は日本担当。11月上旬。会場未定。インターハイ優勝者より選考。
- (5) 平成24年度全国高等学校選抜自転車競技大会について (総務部会)
口頭で報告があった。
・現在未定である。
- (6) 平成25年度全国高校総合体育大会について (大分県実行委員会)
別紙通り報告があった
・塚崎先生より進捗状況が報告された。
- (7) 第4回全日本ステージレースについて (理事長)
口頭で報告があった。
・第3回は出場数が過去最高で成功裏に終わった。
・国内で高校生が参加できる唯一の大会なのでやってほしいことをお願いした。
・H24 8/30~9/2(インカレと重なっているが)に実施予定
・同一校の選手が別々のチームで出場することがないように。
- (8) ホームページのバナー広告について (総務部会)
・5社は無償(ビットリア、OGK、キャットアイ、日本写真判定、パールズミ)
・1社は有料(ダイワボウ)
・2社交渉中(パナソニック、ニューサイクリング)
- (9) 各専門部会より
全国合宿報告 (強化育成部会)
別紙通り報告があった
・参加した選手に好評であった。
・感想文は25人全員提出された。HPに掲載する(名前無し、抜粋)。
- 選抜大会ロードコースのDVD視聴について (技術審判部会)
口頭で報告があった。
・HP動画配信(データが大きいのので分割する)。
・閲覧希望者は、直接中田先生に交渉するように。
- 24年度理事会員変更について (総務部会)
・高松部長が3年間の任期を終えられる。来年度は四国・香川から
・中村先生が定年退職になるが、再任用(加盟校勤務)でもう1年の任期
・総務部会員 新潟 小柳(24年度IH担当)
秋田 堀部(23年度IH担当)
↓変更
大分 塚崎(25年度IH担当)
- (10) 平成23年度賛助会費決算報告および賛助会員の募集について (事務局)
別紙とおりに報告と、賛助会員のお願い。

(11) その他

高校生技術アイデアコンテストについて

(事務局)

- ・今年度、最優秀賞に岡山工業高校の「自転車競技用ディスクホイールの開発」が選ばれた。
- ・ジュニア世界戦で活躍していた選手が開発者のメンバーであった。
- ・自転車競技のみならず、工業関係でも優秀な成績を上げている。

秋田インターハイDVDについて

(理事長)

- ・シクロ・イマージュ社より、大会DVDが無償提供があった。
- ・都道府県枚数のみであるので各委員長の先生方に配布した。
- ・各校にコピーし配布願いたい。